



55 平均在院日数(一般病棟)

解説	患者が一般病床に平均何日間入院しているかを表す指標です。患者の重症度や疾病により違いがあるため単純に比較することはできませんが、質の確保と医療の効率化が高いレベルで達成されるほど、平均在院日数は短縮されるとされています。また、病床稼働率(一般病床)と合わせて比較することにより、例えば病床稼働率が上昇し、在院日数が短縮している場合は、地域の医療機関などと連携しながら、急性期医療を効率的に行っていると考えられます。												
実績	<table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>平均在院日数(日)</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成25年度</td><td>13.1</td></tr><tr><td>平成26年度</td><td>12.4</td></tr><tr><td>平成27年度</td><td>11.9</td></tr><tr><td>平成28年度</td><td>11.8</td></tr><tr><td>平成29年度</td><td>11.8</td></tr></tbody></table>	年度	平均在院日数(日)	平成25年度	13.1	平成26年度	12.4	平成27年度	11.9	平成28年度	11.8	平成29年度	11.8
年度	平均在院日数(日)												
平成25年度	13.1												
平成26年度	12.4												
平成27年度	11.9												
平成28年度	11.8												
平成29年度	11.8												
定義	各年度1年間の、一般病床における平均在院日数です。以下の式で算出します。 平均在院日数＝「在院患者延数」÷((「新入院患者」+「退院患者数」)÷2)												